

# イベントサロン2013東京

## イベント学会第16回研究大会

# イベントルネッサンス



### CONTENTS

#### イベントサロン2013東京 イベント学会第16回研究大会

- ・ 開催概要、開会宣言、来賓挨拶 ..... 2
- ・ 基調講演 ..... 4
- ・ パネルディスカッション ..... 6
- ・ 展示ブース、交流パーティ、エクスカーション ..... 10
- ・ 口頭発表 ・ ポスター発表 ・ 閉会式 ..... 12
- 事務局からのお知らせ ..... 16



# イベントサロン2013東京 開催

イベント学会では2013年11月15日(金)・16日(土)の両日、東京都文京区の「順天堂大学本郷キャンパス」にて「イベントサロン2013東京」を開催いたしました。今回のテーマは「イベントルネッサンス」。2020東京オリンピック・パラリンピックと2019ラグビーワールドカップ大会の招致に大きな役割を果たされた、森喜朗日本ラグビーフットボール協会会長をパネリストにお迎えし、スポーツイベントの力で日本を元気にするアイデアや方策を考える大会となりました。

会場には2日間で延べ420名の参加者にお集まりいただき、イベント学会の活動を広く皆様にアピールする場となりました。



## ●●● プログラム ●●●

- テーマ：「イベントルネッサンス」
- 会場：順天堂大学本郷キャンパス 有山記念講堂 (15日) センチュリータワー (16日)
- 後援：公益財団法人 日本体育協会、東京都

### 1日目 11月15日(金) 有山記念講堂

12:00～ 開場／受付開始 展示ブース

13:00～ 開会

司会：殿塚すみれさん(順天堂大学)

**開会宣言** 野川 春夫 大会実行委員長(順天堂大学教授 イベント学会副会長)

13:05～ **来賓挨拶** 小川 秀興 学校法人順天堂理事長

13:10～ **基調講演** 堺屋 太一(イベント学会会長)  
～イベントルネッサンス構想～(50分)

..... (休憩) 10分 .....

14:10～ **パネルディスカッション** 「スポーツイベントで日本を元気に！」

パネリスト：森 喜朗氏(日本ラグビーフットボール協会会長)  
大東 和美氏(Jリーグチェアマン)

モデレーター：上代 圭子氏(東京国際大学講師、イベント学会会員)

小林 政則氏(イベント支援ネットワーク代表、イベント学会理事)

(16:10終了)

16:30～ **交流パーティ** B1階 食堂(会費5,000円、学生1,000円 任意参加)

18:00～ **エクスカージョン** イベント学会 オプションルツアー(六本木探検隊®共催)



### 2日目 11月16日(土) センチュリータワー

9:30～ 受付開始

10:00～ **口頭発表** (ポスター発表 口頭説明 13:00～13:50)

16:30～ 閉会式

## 開会宣言



野川 春夫 大会実行委員長  
(順天堂大学教授 イベント学会副会長)

皆さん、こんにちは。この会場は、16年前にイベント学会が産声を上げた、第1回の研究大会の場所です。順天堂大学175周年と同じ年に、再びこの研究大会が開催できることを大変嬉しく思っております。

イベント学会の研究大会は、皆さんが集い、楽しく意見交換ができる場にしたいという願いから、昨年より「イベントサロン」という名称にいたしました。今回は「イベントルネサンス」をメインテーマに、イベントが都市をつくる、新しい東京、新しい日本をどのようにつくるかが命題でございます。

今回、有山記念講堂で集えますのも、学校法人順天堂の小川理事長の格別のご配慮と、関係者の皆様の並々ならぬご尽力と準備のおかげと思っております。有難うございます。

それでは、始めましょう!「イベントサロン2013東京」の開会です。



小雨模様の天候の中、会場には大勢の来場客にお集まりいただきました。



皆様のご尽力で大盛況に終わったパネルディスカッション。写真左から順天堂大学の木南英紀学長、小川秀興理事長、大東和美さん、森喜朗さん、野川実行委員長。誠にありがとうございました。

## 来賓挨拶



小川 秀興 学校法人順天堂理事長

皆様、本日はようこそお出でいただきました。今日は素晴らしい皆様の話をうかがえることを期待しております。

この講堂の名である有山登先生は、私の恩師でございます。お祖母様が土方歳三のお姉様で、土方歳三に顔がよく似ている方ですが、後世に名前を残された生化学者です。この有山先生の義理のご兄弟である東俊郎先生は、有山先生から応援を依頼され、順天堂の病院長を務め昭和20年に敗戦を迎えます。焼け野原の中にかろうじて残った病院で、困った人からはお金をとらないような医療を展開しました。医学界史上では、人間ドックや臨床病院検査を始めたことでも名前を残した方です。

東俊郎先生がこの国のために尽くされたことは、病院長をしながら文部省の初代体育局長の任を受け、イベントとして国民体育大会をこの国に残したことはないかと思えます。東俊郎先生は、医師でありオリンピックのボートの代表選手でもありました。昭和22年に赴任し、2年間で爽やかに職を辞して順天堂に帰ってこられたときには、病院長の職を後輩に譲って、体育学部を創設します。順天堂は医学部の学校として今年で175年を迎えましたが、体育学部をつくって爽やかな青年を育てて、この国を明るく楽しく元気な国にしたいという想いとロマンがありました。イベント学会の第1回の研究大会が、この有山記念講堂で開かれた経緯がこれでお分かりになると思います。

イベント学会の堺屋会長と言えば万博を思い浮かべます。そして、森喜朗先生は9月8日の早朝5時のブエノスアイレスでの最終プレゼンテーションは今も記憶に新しい感動的な出来事です。今日は、素晴らしい来賓の方を呼んでいただいた野川実行委員長、ご苦労さまでした。どうぞこの2日間、皆様楽しんでいただきたいと思います。

司会を務めていただいた、順天堂大学スポーツ健康科学部4年の殿塚すみれさん。



# ～イベントルネッサンス構想～ “楽しい世の中を創ろう”



イベント学会会長 堺屋 太一

## 【東京五輪開催に向けた新しいアクション】

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定はとても歓ばしいことです。この五輪開催を、真に日本の再生に繋げるためには、これからの10年間、日本全部を「楽しい世の中」にすることが肝心だと考えます。前回の1964年の東京五輪では「スポーツ根性」を生み、高度成長に繋がりましたが、今回は「楽しい世の中」を生み、知価社会を確立すべきだと思います。この東京五輪開催に向け、私は次の3点に注意しなければならないと考えます。

- ① 過度の東京一極集中を抑えること
- ② 五輪後の経済の落ち込みを避けること
- ③ 規制強化にならないこと

1964年直後にはこの3つの事態を招きましたが、日本全体が高度成長下で労働人口急増中だったので短期間で立ち直ることができた。直後に、日本万国博覧会が控えていたのも幸いしました。

しかし、今回は低成長と高齢化の局面にあります。五輪後のことも十分に考えなければなりません。2020年には団塊の世代が70歳以上になり、家庭の半分は単身か老夫婦だけの単世代家庭になると予測されます。情報化は進むけれども、対人接触は減る。雇用は短期化し、職場の縁で繋がることも減る。こうした社会で、人々は新しい「絆」を何に求めるのでしょうか。

2011年の東日本大震災以来、各官庁から地震、津波、豪雨、洪水、食品の安全や交通事故まで、様々な危険感が叫ばれています。これは、「危ない!危ない!」と安全を唱えれば、予算と規制権限が限りなく増加するからであります。まず、この風潮に歯止めをかけ、安全と並んで楽しみ(幸福の追求)を正義の1つにしたいと思います。

## 【東北復興を宣言する移動博覧会】

そのために急ぐべきは東北復興宣言。関東大震災後には震災後7年目に「帝都復興大博覧会」が開催されました。東北でも大きな行事を目標に復興に区切りをつけるべきだと考えます。しかし、ただの博覧会では二番煎じ、三番煎じであり、その上、会場の選定も難しい。そこで私は、まったく新しい形式の「移動博覧会」を提案したい。大型の電気トラック(長さ10m以上)をつくり、これを展示パビリオンとして「博覧会」を開催する。

- ① 東北各地10ヵ所で各15日間の開催とする
- ② 大型トラックの荷台を関口式として展示館とし、10ヵ所の会場を移動する。移動再配置までは5日間とする
- ③ 企業や自治体などが出展し100台以上の規模とする
- ④ 開催希望自治体はトラックの駐車できる展示場が入る広場および基礎施設を用意する
- ⑤ 入場料は開催自治体の収入とし、会場整備費に充てる

- ⑥ 全会期(10会場合計)の入場者は1500万人が予想される
- ⑦ 電気トラックの運行技術の振興に役立てる(入場料売上げ歩合等の収入を入場者1人当り3000円の場合、平均的な会場で45億円の収入。会場整備費は十分に賄える)
- ⑧ 使用後の電気トラックは、広告車、市内交通に利用する
- ⑨ 1展示館当りの経費は、電気自動車および展示装飾費1億円、全会場運営費1億円と見込まれる

## 【大阪道頓堀プールの開設】

2015年は大阪民都400年、これを機会に「大阪10大行事10年間」(10Event Decade)を開催します。その中核となるのが「道頓堀プール」であります。

- ① 道頓堀川に長さ809m、幅10m、深さ1.0~1.2mの布函を設置する
- ② 布函の中には水道水を入れる。世界最長、最高水質のプールとなる
- ③ プールサイドには更衣室、化粧室、デッキチェア等を5000人分設ける(1日3交替、計15,000人)

このような構想の道頓堀プールは、世界が驚嘆する日本名物となるはずです。道頓堀プールは毎年6月下旬から9月上旬までの夏期9週間開催する計画です。

## 【道頓堀を活用した世界が驚くイベントプラン】

### プラン1)「泳ぎのマラソン世界選手権」大会

道頓堀プールを使用して往復1マイル(1609m)の「泳ぎのマラソン世界選手権」も計画しています。折返しターンのない800m一往復のレースなので一度に100人以上が参加でき、白熱のレースが期待できます。7月上旬より毎日午前中は「泳ぎのマラソン出場資格検定」および予選を実施。男子オープン、女子オープン、男子リレー(800m×4人)、女子リレー(同)を種目とします。「泳ぎのマラソン世界選手権大会」の決勝戦はテレビで世界に中継され世界的名物になるでしょう。

### プラン2)道頓堀水上ステージの設置

夏期のプール営業終了後は、プールの布函や更衣室は折り畳んで下流倉庫に収納。道頓堀川は水上ステージとなります。

- ① ステージ船を運行し両岸に観覧席を設ける
- ② ステージ船は大劇場の舞台と機構を載せる広さがある
- ③ 他に先駆け船、前観客船、後観客船、後追い船が随伴する。プールサイドには10m間隔で、80本(南北合



わせて160本)の照明音響装置を備えた柱列を並べる

- ④ 3箇所の船着場には、南北それぞれ数100席の特別観覧席を設け特別料金で見物させる
- ⑤ プール領域のその他の部分は、低料金(1000円程度)の立見席とする

## 【新しい発想による新しい行事が必須】

つまり、道頓堀プールは民営事業として楽しみをつくるモデル的事业であり、「楽しい世の中」を目指すこれからの日本には、世界が驚く名所名物が数多く創出されなければならない。全国各地で、世界から注目を集めるような奇想を発して欲しいと思います。「高齢化先進国」となる日本は、欧米で生み育てられた行事を誘致するだけではなく、自ら新しい発想で新しい行事を開発し、税(公共事業)に頼らぬイベントを切り開くべきです。それが各地の賑わいとなり、誇りとなり、広い地域の人々の絆を結ぶことにもなると考えます。

ぜひ、皆様方の奮起をお願いしたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

### 堺屋 太一(さかいや たいいち) イベント学会会長

1935年大阪生まれ。東京大学経済学部卒業(1960年)後、通商産業省入省。日本万国博覧会の提案、企画・実施に携わる。沖縄開発庁に出向中には沖縄国際海洋博覧会や観光開発を手掛けた。1962年通商白書では「水平分業論」を展開し、世界的に注目される。

1978年に退官。作家として予測小説手法を開発、「油断!」「団塊の世代」「平成三十年」等のベストセラー小説の他、歴史小説「巨いなる企て」「峠の群像」「豊臣秀長」「世界を創った男 チンギス・ハン」を執筆。また、1985年に出版した経済理論「知価革命」は世界8ヵ国語に訳され、国際的評価を得ている。

1998年7月~2000年12月まで経済企画庁長官を務める。2010年上海万国博覧会日本産業館代表兼総合プロデューサーを務め、好評を博した。現在は内閣官房参与、大阪府及び大阪市特別顧問を務める。

# 「スポーツイベントで日本を元気に！」



2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの招致などスポーツ界に多大な貢献をされている森喜朗氏、Jリーグのチェアマンとしてプロサッカーを牽引する大東和美氏をパネリストにお招きしました。日本のラグビーとサッカーの現状や将来展望、2019年と2020年に控えたビッグイベントについて議論を交わしていただきました。

## パネリスト

日本ラグビーフットボール協会会長 **森 喜朗 氏**  
Jリーグチェアマン **大東 和美 氏**

## モデレーター

東京国際大学講師 イベント学会会員 **上代 圭子 氏**  
イベント支援ネットワーク代表 イベント学会理事 **小林 政則 氏**

**小林** ただ今、ラグビーとJリーグそれぞれのプロモーション映像をご覧いただきましたが、さっそく大東さんからコメントをお願いします。

**大東** 今日は、大先輩の森さんが隣にいらっしゃいますので少々緊張しております。先程の映像はJリーグ20周年を記念して作ったものです。当初は10クラブでスタートし、今年は40クラブ、30都道府県まで広がっております。来年はJ3をスタートし、我々の理念であるJリーグ百年構想に基づき成長を続けているところです。

## 2019年のラグビーワールドカップを誘致して果たした恩師との約束

**森** 大東さんは、この席にサッカー界を代表して出席していますが、実は早稲田大学のラグビー部のスター選手でした。日本代表の選手でもありました。緊張しているのは、ラグビーを見捨ててサッカーに転向したからかもしれない(笑)。しかし、チェアマンをしながらラグビーフットボール協会の理事などもしていただき、今でもお知恵を拝借している関係であります。

私は早稲田大学在学中にラグビーを辞めました。その時に、大東さんとも共通の恩師である大西鐵之祐先生に「ラグビーを見返せるような人間になる事。そして、いつかはラグビーに恩返しをして欲しい」という言葉をいただいた。それから政治の世界に行き、総理大臣になれたのも、ラグビーのおかげと感謝しています。恩師と約束した恩返しのために、私は日本ラグビーフットボール協会の会長になりました。そしてラグビー関係者の共通の夢で

ある、ラグビーワールドカップを日本で開催することこそ、恩返しになると考えました。

しかし、ラグビーは大英帝国時代にイギリスが世界に広めたスポーツであり、ヨーロッパが中心です。今でもイギリスの影響力は絶大で、日本の存在には関心を示さない。それなら日本のラグビーの地位を上げようと思った。ありがたいことに、イギリスでは総理大臣である私がラグーマンであったことを知ると、議会で応援することを決議してくれた。外国の会合に行くと、日本の元総理ということで歓迎してくれる。そこでの交流やコネクションを生かして、日本にラグビーワールドカップを持ってこようと考えた。そして2019年の開催が決定した。2020年の東京オリンピック・パラリンピックも決まり、まさにイベント界はこれからスポーツのビッグイベントを次々と迎えることになると思います。

**上代** 日本のスポーツ界は2002年のサッカーワールドカップ、さらにJリーグの設立で「スポーツのビジネス化」が盛んになったと感じています。この20年を振り返って大東さんにひと言お願いしたいと思います。

### ビジネス化成功の鍵は 若手の育成と地域に根差したチームづくり

**大東** 日本サッカー協会は1921年に設立し、20年前の1993年にJリーグができました。長い間、日本人にとっ



て夢の夢だったワールドカップにも来年5大会連続で出場します。Jリーグができたことでサッカー界は大きく成長しました。かつて1968年のメキシコオリンピックでは、日本は銅メダルを獲得しました。世界的な快挙でしたが、その後は勝てなかった。それは若手を育成していなかったことが大きな要因だと思います。Jリーグでは設立当初から、若手の育成を義務づけました。これにより、若手が育ち、継承されていく。そしてワールドカップへの出場を果たし、海外でも多くの選手が活躍するレベルになりました。また、地域に根差したサッカーも理念の1つであり、チーム名は地名と愛称を入れた形になっています。地域をホームタウンという言い方にして、地域と共に発展

#### 森 喜朗(もり よしろう)

生年月日 昭和12年7月14日 本籍 石川県能美市下ノ江町申27  
 学歴 早稲田大学商学部 昭和35年 卒業  
 経歴 新聞記者、国会議員秘書を経て衆議院議員(石川2区)  
 昭和44年12月27日に初当選 以後当選14回～平成24年11月16日

文部大臣(第二次中曽根内閣) / 昭和58年12月27日～昭和59年11月2日  
 自由民主党政務調査会長 / 平成3年10月31日～平成4年12月11日  
 通商産業大臣(宮沢改造内閣) / 平成4年12月12日～平成5年8月9日  
 自由民主党幹事長 / 平成5年8月2日～平成7年8月8日  
 建設大臣(村山改造内閣) / 平成7年8月8日～平成8年1月11日  
 自由民主党総務会長 / 平成8年11月6日～平成10年7月25日  
 自由民主党幹事長(再任) / 平成10年7月25日～平成12年4月5日  
 内閣総理大臣[第85代] / 平成12年4月5日～  
 内閣総理大臣[第86代] 第二次内閣 / 平成12年7月4日～  
 内閣総理大臣[第86代] 第二次改造内閣 / 平成12年12月5日～  
 平成13年4月26日  
 公益財団法人 日印協会代表理事・会長 / 平成22年11月1日～  
 公益財団法人 日本体育協会名誉会長 / 平成23年4月1日～  
 公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会会長 / 平成17年6月25日～  
 アジア太平洋水フォーラム会長(日本水フォーラム会長) /  
 平成18年9月11日～  
 (平成24年11月16日 現在)

#### 大東 和美(おおひがし かずみ)

1948年(昭和23年)10月22日生 兵庫県神戸市出身

1967年 報徳学園高等学校 卒業  
 1971年 早稲田大学 教育学部 卒業  
 1971年 住友金属工業株式会社 入社  
 1996年 〃 四国支社支社長  
 1999年 〃 大阪プロジェクト開発部長  
 2001年 〃 九州支社支社長  
 2005年 株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー 専務取締役  
 2006年 〃 代表取締役社長  
 2008年 社団法人日本プロサッカーリーグ 理事  
 2010年7月20日 社団法人日本プロサッカーリーグ チェアマン選任

##### 【スポーツ歴(ラグビー歴)】

- ・報徳学園高校時代にラグビーを始める
- ・早稲田大学ラグビー蹴球部ではフッカーとして活躍し、70年度には主将として大学選手権で優勝、さらに新日鐵釜石に勝利し日本ラグビーフットボール選手権を制し日本一になる
- ・卒業後、住友金属(ラグビー愛好会)に勤務しながらも72年度に日本代表に選出、テストマッチ計6試合に出場(キャップ6)
- ・76年度、早稲田大学ラグビー部監督就任、大学選手権優勝

##### 【その他】

2010年 茨城県表彰「特別功労賞」受賞



すること、地域に貢献すること、Jリーグ百年構想を掲げてブレない形で続けてきた活動が成長につながったと感じています。

**上代** 先日、オールブラックスとの試合を見ましたが、実は今までラグビーを観戦する機会がほとんどありませんでした。2019年までに協会としてどのようなアクションを計画しているのか、森さんにコメントをお願いします。

**森** まず強くすることです。大東さんも話したように、育成はとても大事です。特に子ども達にラグビーを体験してもらうこと。ちびっ子ラグビーは昔から力を入れていますが、最近ではタグラグビーが推奨されている。腰に付けたタグを取ったら相手にボールを渡すルールでタックルはしない。文科省の学習指導要領でも奨められている。もう1つタッチラグビーもある。小学生レベルでは女子が強い。ところが中学生になるとみんなサッカーに行ってしまう。ラグビーをやっている中学が少ない。格闘技なので、正しい指導者がいないと危険も伴う。ラグビー部のある高校は少なくないですが、大学受験を控えて離れていく学生も多い。そんなことがラグビーの層を薄くしていると考えられます。代表選手の強化はもちろんです。諸外国に比べて体が小さいため、強靱な相手といかに戦うか。日本代表が強くなれば人気が出てきます。オールブラックスとの試合は歯がゆさもありましたが、そこまで勝ち抜いた実績は大きい。かなり力は付いていると思います。

### Jリーグのビジネスモデルを参考に ラグビー界の変革にチャレンジ

**森** ところで、日本のラグビーは弱いと思われがちだが、世界ランキングで何位かご存知ですか？ 120～130カ

国の中で14位なんです。かなり上位にいます。サッカーは確か44位ですね(笑)。

**大東** いえ、FIFA加盟国208カ国中で44位ですので、ラグビーの14位と比べるのは難しいかと(笑)。

**森** しかし、ビジネス化については、サッカーがかなり先に進んでいる。2002年のサッカーワールドカップを観て実感しました。当時はまだ国会にいたので、超党派で議員を集めて勉強をしました。サッカーを知り、ラグビーを振り返ると、アマチュアであることにこだわり続けてきた。この伝統が、今のラグビーの遅れにもなっている。トップリーグはJリーグを参考にして立ち上げたものだが、企業スポーツがベースです。長い間、潤沢な資金力で支えられてきたことから、サッカーのように地域に密着して、地域のファンに支えられるという関係性が築けていない。これを今後どのようにしていくのか、ラグビーの大きな課題であり、2019年のラグビーワールドカップが終わってから結果が出てくると思います。

**大東** Jリーグには「豊かなスポーツ文化を醸成」という理念もあり、地域のファンとともに成長していく。ファン、サポーターは私自身も大切に考えています。チームはJ1が18、J2が22で、平均的な事業規模の概算はJ1が約30億円、J2が約10億円。個々が独立した株式会社の形で運営しているので、業績や採算が求められています。ご承知のとおり、Jリーグの試合はtotoの対象になっていて、グラウンドの整備など色々な形で役立てています。少々話がズレましたが。

**森** それはとても大事なことです。オリンピックの会場整備もtotoの収益がないと厳しい。長い間赤字も続きましたが、分かりやすいBIGは売れ行きも好調とのことで。



**大東** 今回は10億ですので。皆さんぜひお買い求めください(笑)。

～2020年東京オリンピック・パラリンピック招致活動の映像上映～

**小林** 9月8日の早朝の感動的なシーンは記憶に新しいところです。森さんの招致活動のナマのご感想をお聞かせください。

**森** 自分の選挙の時よりもはるかにハラハラした(笑)。決定した瞬間は最高の盛り上がりでしたね。IOCの委員は約100名、当事国は投票できないので、日本、スペイン、トルコの委員を抜いて94名ですが、オリンピックから貴族、王族まで様々な方で構成されている。私は、今回の最大の功労者は安倍晋三総理だと思っている。各国の首相と良好な関係を持つことで、IOC委員を通じて日本に投票していただいた。私も微力ながら、自分の人脈でいくつかの国を回りお願いをしました。そして何よりもオールジャパンで臨んだこと。国民の支持率も92%になったそうです。ロンドン五輪メダリストたちの銀座のパレードも国民の心に響いたようですね。日本でオリンピックを開催したい!という強い気持ちが世界に伝わったのだと思います。

### オリンピック開催が決定し これからの日本がすべきことは

**大東** ぜひ良いオリンピックにしたいですね。1964年の東京オリンピックは、根性論が先行して体育の大会というイメージでしたが、2020年は人の癒しを感じられるような大会になると思います。開催まで7年、まだ時間がありますので、しっかりした準備をしたいですね。サッカーに関しては、現在13～15歳の選手が主流になるので、優勝を狙えるようなチームにしたいですね。社会的には高齢化が進むことから、オリンピックを機にスポーツに親しみを感じ、生涯スポーツがさらに盛んになればいいと。

開催後に何が残せるか、今から社会全体が考える必要があると思います。

**小林** まとめの意味も込めて森さんからご意見ご提案をお願いします。

**森** 私は、まずはラグビーワールドカップを成功させることですね。2016年のリオデジャネイロ五輪では、通称セブンズと呼ばれる7人制ラグビーが正式種目として決定している。ラグビーの魅力を皆さんに知っていただくチャンスですので、代表選手の強化に全力を挙げています。2020年について皆さんに申し上げたいのは、オリンピックは東京だけのものではないということ。チャンスは日本中にある。オリンピックのために訪日する外国人が、足を伸ばしたくなるような魅力づくりやプロモーションを各地で考えて欲しい。先程、堺屋先生から道頓堀プールの提案がありましたが、スポーツを盛んにするようなイベントを、全国の自治体が積極的に行うべきだと思います。そのために、イベント学会には側面から、場合によってはリーダーとなって牽引して欲しいですね。確かに日本は少々元気がない。この状況を打破するために、イベント学の研究を集約していただきたいと思います。

**上代** 森様、大東様、本日はご多忙のところ誠にありがとうございました。



#### 小林 政則 (こばやし まさのり)

イベント支援ネットワーク代表 イベント学会理事

1948年東京生まれ。1972年早稲田大学卒業後 電通に入社。商品の新発売キャンペーンや販促イベントに従事。1983年科学万博室に異動。以後 大阪花博、セビリヤ万博、愛・地球博など国際博覧会の政府出展や主催者事業を担当。2011年退社までにインパク協会(事務局長)、世界陸上大阪組織委員会(大会支援部長)、イベント学会(事務局長)に出向し主催者や支援団体の立場でイベントを推進。現在はフリーランスでイベントの調査・研究、コンサル業務に取り組んでいる。

#### 上代 圭子 (じょうだい けいこ)

東京国際大学専任講師 イベント学会会員

1978年東京生まれ。2000年順天堂大学卒業後 電通にて2002年FIFAサッカーワールドカップに関する業務に従事。その後、順天堂大学大学院に進学するとともに、Jリーグ浦和レッズや日本サッカー協会に勤務し、試合運営や社会貢献活動を担当。2010年より教員職となり、2010年より東京国際大学商学部所属。スポーツビジネスに関する科目を担当し教鞭をとるとともに、埼玉県において日本代表戦や生涯スポーツイベントなどフィールドワークにも取り組んでいる。

# 展示ブース

展示ブースは6団体が出展。  
それぞれが手掛けるイベントや活動、  
研究調査結果などの発表が行われました。



## ● 公益財団法人 笹川スポーツ財団



笹川スポーツ財団 事業紹介ならびに  
研究調査結果紹介

## ● (株) 電通



電通関連の本と新しいイベントスペース事業の実績の紹介

## ● TSP太陽 (株)



TSP太陽が手掛けた東北復興支援プロジェクトやスポーツ  
イベントによる地域振興に関する最近の実績を紹介

## ● (株) 博報堂



博報堂グループ主催・共催イベントの紹介と  
自社の書籍・カタログ紹介

## ● (株) 乃村工藝社



乃村工藝社がお客様に提供する価値を、最近の実績  
写真のパネル展示や資料配布を通じて紹介

## ● イベント学会



イベント学会の活動と書籍紹介

## 交流パーティ

毎年箱根駅伝の報告会が行われるという、伝統ある有山記念講堂の食堂で行われた交流パーティ。大勢の個人・法人会員と学生の皆さんにご参加いただき、賑やかな交流の時間となりました。



「本日の基調講演では私のアイデアをご紹介しましたが、ぜひ皆さんに日本発のオリジナルのイベントを創出していただきたい」と挨拶を述べる堺屋会長。



「2020年に向けて大きなスポーツイベントが控える中で、イベント学会の知恵を出し、この団体が大きくクローズアップされる時期を迎えたと感じている」と挨拶し、乾杯の発声をする成田理事長。



中締めという言葉として、事前の準備や運営に携わる実行委員やインターン、堺屋会長、成田理事長に感謝の言葉を述べた野川実行委員長。



似顔絵作家の田畑伴和さんより、大東チームに似顔絵を進呈。



交流パーティの司会は沖佳保里さん。



森さん、大東さんの出身地や東北の地酒も好評。



パーティにご参加いただいたアカベラグループ XUXU (シュシュ) の皆さんによる歌声で、会場を盛り上げていただいた。



## エクスカーション

交流パーティ終了後に行ったエクスカーションでは、本郷キャンパスから秋葉原まで、名所旧跡や最新スポットなどを散策した。



# 口頭発表

11月16日(土)の口頭発表には17題がエントリー。  
発表15分質疑応答5分の20分の持ち時間で、  
研究成果の発表が行われました。



## ◀ A会場 ▶

### 第1グループ

座長 宮木 宗治



#### 越川 延明 (一社)日本イベント産業振興協会

イベント開催都市の国際競争力向上に向けた国際標準の活用  
マネジメントシステムとレポートガイドライン



#### 藤田 卓也 (株)電通

AQUA SOCIAL FES!!  
～共成長マーケティングへの挑戦～



#### 永田 康(代理発表者/石井淳) (株)博報堂

被災地の健康支援プロジェクト  
「ヒューマン・ケア 心の絆プロジェクト」



### 第2グループ

座長 小島 敏明



#### 田中 滋 DEN&A

自転車社会の構築を目指して!  
“I LOVE CYCLING IN TOKYO ”



#### 渡辺 泰弘 広島経済大学

プロゴルフトーナメントのイベントマネジメントに関する研究  
～観戦者の特性に着目して～



#### 鈴木 純子 (一社)日本リ・ファッション協会

「モノづくりイベントがもたらす地域コミュニティへの影響」中間発表  
～参加型のワークショップが人を繋ぐ～



### 第3グループ

座長 小林 政則



#### 杉本 洋文 東海大学 工学部建築学科

生活復興支援活動から  
復興ステーションの提案へ



#### 福井 昌平 (株)コミュニケーションデザイン研究所

政策提言「東北復興博覧会」研究会 中間活動発表  
「東北復興博覧会」実現にむけた、対話と交流  
による新たな合意形成へのアプローチ





2つの教室では個人・法人会員や大勢の学生の皆さんが聴講。



## B会場

### 第1グループ



座長 萩 裕美子

#### 山口 志郎 順天堂大学大学院

スポーツイベントにおけるパーソナリティフィットの効果に関する研究:ブランドパーソナリティを用いた定量分析



#### 山田 亜沙妃 順天堂大学大学院

国民体育大会における式典イベントの有効性と課題～各都道府県の行進参加者に着目して～



#### 谷津 祥一 順天堂大学

複数スポーツ種目を組み合わせたスポーツイベント～プロラيفルとノルディックウォーキング～



### 第2グループ



座長 山之内 弘二

#### 石井 淳 (株)博報堂

被災地支援サイクリングイベント  
「ツール・ド・三陸 サイクリングチャレンジ  
2013 in りくぜんたかた・おおふなど」



#### 山野 伸介 (株)電通

スポーツ祭東京2013  
「ふるさと47応援プロジェクト」事例報告



#### 岩崎 博 (一社)イベントナビ

コミュニケーションメディアとしてのイベントと  
SNS(ソーシャルネットワークサービス)



### 第3グループ



座長 岩崎 博

#### 川本 博保 (株)こんてんつ

平成27年北陸新幹線開通で  
金沢の新しい街づくり



#### 加藤 淑子 (株)エンコーポレーション

「イベントにおける応急手当を考える!①」  
～熱中症～



#### 貝辻 正利 神戸大学大学院工学研究科研究員

イベントにおけるリスクマネジメントの原点



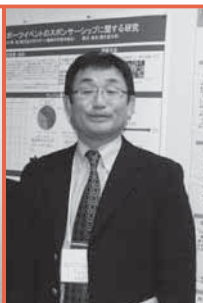
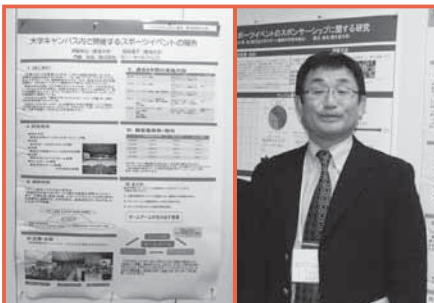
# ポスター発表

## 口頭説明

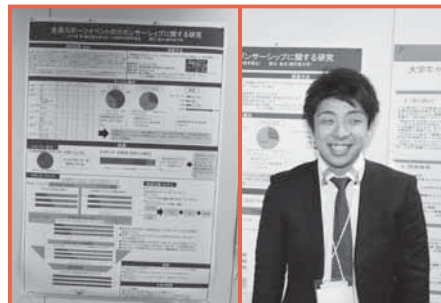
ポスター発表は7題がエントリー。  
野川実行委員長を座長に口頭説明を行い、研究に対する質問やディスカッションも行われました。



**飯田 速人** 順天堂大学  
スポーツイベント参加者に与えるクチコミの影響



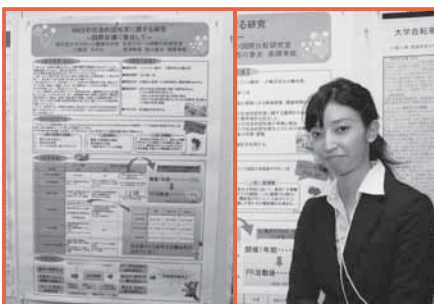
**伊藤 栄治** 東海大学  
大学キャンパス内で開催するスポーツイベントの研究



**小澤 惇** 順天堂大学  
生涯スポーツイベントのスポンサーシップにおける研究



**黒川 剛** 鹿屋体育大学  
大学自転車競技部が地域と連携し成功させたマイナースポーツイベントの成功例  
—歴史的な高評価を得た全日本インカレの誘致から運営まで—



**殿塚 すみれ** 順天堂大学  
MICEの社会的認知度向上に関する研究  
—国際会議に着目して—



**野川 春夫** 順天堂大学  
スポーツ祭東京2013開会式における観覧者の満足度

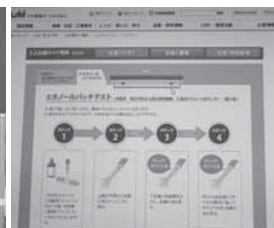


**山本 浩佑** 順天堂大学  
Jリーグにおける観戦者のサービス品質認識の男女比較研究

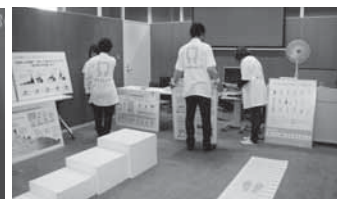
## 体験コーナー

順天堂大学と博報堂による2つの体験コーナーも開設。

- **アルコールパッチテスト** 順天堂大学  
腕に少量のアルコールを付けて時間を置いて皮膚の反応をチェック。



- **ロコモチャレンジ** 博報堂  
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）をチェックする体験コーナー。



# 閉会式



全てのプログラム終了後は実行委員とインターンの皆さん、参加者の皆さんで記念撮影。

## ボランティアの皆様、心より感謝いたします

大会実行委員の皆様、順天堂大学、東海大学、慶應義塾大学の学生の皆様、  
ご協力ありがとうございました。

### 大会実行委員会

委員長：野川 春夫（順天堂大学教授）

副委員長：工藤 康宏（順天堂大学准教授） 上代圭子（東京国際大学講師）

### 実行委員

荒川 弘毅	猪野 隆秀	岩崎 博	内田 なお子
太田 正治	沖 佳保里	加藤 淑子	金原 貫太郎
北村 明	小島 敏明	小林 政則	澤内 隆
鈴木 健夫	菫 裕美子	平山 良一	宮木 宗治
安田 光作	山之内 弘二		



### インターン

#### 順天堂大学

飯田 速人	伊藤 幹樹	太田 充彦	大塚 桃子	岡村 奈奈	小澤 惇
小澤 珠実	影山 翔	狩野 雄介	川田 和寛	岸 純平	小柳 美沙子
鷺 周作	櫻井 沙織	佐藤 朱里	佐藤 有里子	塩川 知良	柴崎 雄介
杉本 千尋	殿塚 すみれ	中村 紘子	中林 拓海	沼澤 かすみ	野上 咲子
野川 暁弘	橋本 真一	平山 なつみ	広津 万里菜	福本 拓真	藤井 翼
藤田 薫	藤田 裕次郎	本多 里也子	的場 洋介	宮澤 奈都輝	山田 亜沙妃
山田 敏輝	山田 侑美	山本 浩佑	山本 純子	吉田 隼人	渡辺 淳太郎
渡辺 真帆	渡辺 美紗				

#### 東海大学

内山 舞	小川 直美	坂元 周	田代 朋世	坪井 和音	名武 遼香
------	-------	------	-------	-------	-------

#### 慶應義塾大学

秋山 駿



撮影協力：新井 裕一 大根田 利夫

(五十音順：敬称略)

イベント学会の交流サロン

☆「新春サロンin仙台」

日時:1月28日(火) 18:00~20:00

会場:クレプススクールカフェ(仙台市青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク1階)

文化の香り漂う仙台で1年振りにサロンを開催します。今回はイベントや諸活動、商品、サービス、アイデアなどの発表を予定しています。また2月27日に、「国連防災世界会議」開催における国際連携の在り方と、「東北復興博覧会」実施をテーマにしたシンポジウム『東北復興博覧会構想』が仙台で行われます。この内容の一部を「新春サロンin仙台」でご紹介する予定です。プレゼンテーションの後は、アルコールと軽食で仙台の皆様と交流を深めていきたいと考えています。

会費 : 1,000円

☆ 金曜サロン(キンサロ)

1月 1月24日(金) 18:30 ~ 21:00

会場:日本イベント産業振興協会会議室

会費 : 1,000円(領収書を発行します)

2月 2月28日(金) 18:30 ~ 21:00

会場:日本イベント産業振興協会会議室

交流サロンの詳細はメールニュースでお知らせしています。皆様のご参加をお待ちしております。

イベント学研究会

イベント学の研究推進と会員の交流を目的に、テーマに基づいた各種研究会を実施しています。研究会の開催日程や詳細につきましては、メールニュース、学会Webにて随時お知らせします。

● ソーシャルイベント研究会(座長:小林 政則)

「新しいビジネスの創造」を目的に、会員の保有しているコンテンツやサービス、ノウハウなどをイベント学会内で共有し、会員間で流通させることを目指した研究会です。毎月1回定例で研究会を重ねることで、会員間のビジネス交流を図っていきます。さらに、研究会のメンバーの企画やビジネスを自治体や各種団体、施設などに提案する「勝手にプロポーザル」等の活動を行っています。

● イベントビジネス研究会(座長:岩崎 博)

いまや社会の活動基盤となっているイベントをめぐる、特にその多様なビジネス活動に焦点をあて、多くの関係者を集め、交流を促し、ビジネス活動として開催されるイベント、イベントを生み出し支える多様なビジネスの一層の発展を図っていきます。

● リスクマネジメント研究会(座長:宮地 克昌)

イベントに関する事件や事故、トラブルなどの発生を抑制する為の手法を研究し、情報共有と同時に広く社会に提言していく必要があります。多角的に情報や意見を集め、具体的な活動に結び付ける研究会です。

● まち歩きイベント研究会(座長:小林 政則)

本年度は「あるくサロンin谷・根・千」として、谷中・根津・千駄木エリアを対象に、まち歩きイベントの可能性について研究していきます。この研究会をきっかけに、会員のみなさんの得意なエリアを研究していただきます様、企画提案をお願いします。

イベント学会入会手続き

1. 入会ご希望の方は、申込書(会員種類別)にご記入の上イベント学会事務局あてにご郵送ください。申込書は学会Webからダウンロードするか事務局へご請求ください。
2. 申込者については理事会等で審議し、入会を承認された方には入会承認書と振込み案内をお送りしますので、入会金(初年度のみ・準会員は不要)と年会費を指定の口座にお振込みください。
3. これ以降、会報『イベントロジー』やメールニュース、研究報告書、研究大会、イベントなどのご案内をお届けします。

イベント学会会費一覧(2013年4月~2014年3月)

会員種類	入会金	年会費	備考
1) 個人会員	5,000円	10,000円	個人
2) 準会員	なし	2,000円	大学生、大学院生、専門学校生など
3) 自治体会員	20,000円	50,000円	地方自治体
4) 法人会員	(1口)100,000円	(1口)100,000円	企業、団体などの法人

※法人会員は1口以上